

各種がん検診について

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことです。

69歳までの方に特に推奨されています。

がん検診では症状がない方が精密検査を受ける必要があるかを確認します。

自覚症状がある方は検診を待たず、医療機関を受診し、詳しい検査をすることが大切です。

気になる症状が無い方



定期的にごがん検診を受けましょう

気になる症状がある方



検診を待たずに医療機関を受診しましょう

医療機関での受診をお勧めする場合があります

安全に検査していただくため、当日の問診状況によっては検査をお断りし、医療機関での受診をお勧めする場合があります。各種がん検診の留意事項は、各がん検診のページをご確認ください。また、がん以外の疾患で治療中の方は、検診受診について主治医にご相談ください。

がん検診には利益(メリット)だけでなく不利益(デメリット)もあります

すべてのがん検診にはメリットとデメリットがあります。これらを正しく理解し、受診することが大切です。

がん検診のメリット

- がんを早期に発見できる
- 早期発見により、治療負担が少なくなる

がん検診のデメリット

- がんが100%見つかるわけではない
- まれに検査による事故を招く場合がある

各検診を受診できるのは年度内1回のみです。

2回以上、同じ種類の検診を受けることはできません。

肺がん等検診

検診内容： 問診、胸部レントゲン撮影、問診結果により喀痰検査

自己負担額： 600円（61歳以上は無料）

持ち物： 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

服装： 無地のTシャツ等



上半身にボタンや金具がついている衣類、インナーカップ付きの衣類は、レントゲン写真に写りこみ正確に検査できない場合があります。胸部検診車内での着替えはできませんのでご注意ください。

○次に当てはまる方は医療機関受診をお勧めします。

- ・肺がんの診断を受け治療中の方
- ・呼吸器疾患により治療または経過観察中の方
- ・妊娠している方または妊娠の可能性がある方

肺がん等検診は「結核検診」を含みます(65歳以上の方に義務付けられています)

令和3年に新たに結核を発病した方のうち約7割が65歳以上の方です。

以前結核に罹った方が高齢による免疫低下に伴って発病するためです。

結核を発病すると、咳・たん・発熱等の症状が出ますが、高齢の方は、

自覚症状が乏しく、結核の発見が遅れてしまうことがあります。

結核は早期発見によって家族や周囲の方への感染を防ぐことが大切です。

年に1回、肺がん等検診を受診し早期発見につなげましょう！

大腸がん検診

検診内容： 問診、便潜血検査

自己負担額： 600円（70歳以上は無料）

持ち物： 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金、2日分の便

注意事項： 1日分の便では検査できません

便は検診日を含む4日以内に、2日に分けて採ってください

期限切れの採便容器では検査できません

採便容器の期限は、容器に記載しています

家族の方に提出を頼むこともできますが、
事前に問診(黄色い袋裏)の記入が必要です



○大腸がんの診断を受け治療を継続している方は医療機関受診をお勧めします。

胃がん検診(予約制)



検診内容: 問診、バリウム使用のレントゲン撮影

自己負担額: 1,500円(70歳以上は無料)

持ち物: 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

服装: 無地のTシャツ、トレーニングパンツ等

上半身からお腹のあたりに金具、ボタンのついていないものを着用してきてください。
キャミソールなどについているプラスチックも画像に写るのでご注意ください。

検査前後の過ごし方

検査前日

- ・食事は午後9時までに済ませてください。水は就寝まで飲んでも差し支えありません。
- ・飲酒は避けてください。

検査当日

- ・水は検査開始2時間前までであれば、コップ1杯程度飲んでも構いません。それ以降に飲まれた場合、検査できないことがあります。
- ・コーヒー、牛乳、飴、ガムなどの飲食は避けてください。
- ・検査終了までタバコは控えてください。
- ・高血圧、心臓病、不整脈の薬がある方は検査開始2時間前までに水で薬を飲んでください。
- ・糖尿病の薬の内服、インスリン注射は低血糖をおこす危険があります。使用しないでください。
- ・薬の服用に不安のある方は、事前に主治医にご確認ください。
- ・検査終了後、下剤を渡します。バリウム便が排泄されるまで、水分をたくさんとってください。

胃がん検診ではまれに、腸にバリウムが詰まる「腸閉塞」や、誤って気管に入る「誤嚥」などを起こすことがあります。

以下の項目に当てはまる方は医療機関受診をお勧めしています。

- ・胃がんの診断を受け治療を継続している方
- ・胃の手術を受けたことがある方
- ・胃、十二指腸の病気で治療中または経過観察中の方、病院から内視鏡検査をすすめられている方
- ・腹部の手術を受け、医療機関で治療中または経過観察中の方
- ・妊娠中及び妊娠の可能性がある方
- ・過去にバリウムを飲んで過敏症(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど)の症状があった方、ひどい便秘になった方
- ・背筋をまっすぐ伸ばして立つことが困難な方、自力で立つことが不可能な方、撮影台の手すりをつかむことが困難な方(撮影台が動くため手すりを強く握り、ご自身の体を支える必要があります。)
- ・飲食でむせる、体力が弱っている、便秘の強い方
- ・腎不全、心臓病で水分制限を受けている方
- ・体重130Kg以上の方(検査機器上、体重制限があります。)
- ・酸素ボンベ等による酸素吸入治療をしている方
- ※大腸の病気(クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞など)で治療中、経過観察している方、過去に手術を受けた方は主治医に検診を受けてよいか事前に確認してください。

前立腺がん検診



検診内容：問診、血液検査によるPSA値測定

自己負担額：800円（70歳以上は無料）

持ち物：各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

○前立腺がんの診断を受け治療を継続している方は医療機関受診をお勧めします。

乳がん検診(予約制)



検診内容：問診とマンモグラフィ(乳房レントゲン)検査

プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んでレントゲンを撮ります。
乳房の張りが強くなる月経前を避けることをお勧めします。

自己負担額：1,600円（70歳以上は無料）

持ち物：各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金、バスタオル

○次に当てはまる方は医療機関受診をお勧めします。

- ・乳がんの診断を受け治療を継続している方
- ・ペースメーカーを装着している方
- ・豊胸手術をした方
- ・治療のためポート(管)を造設している方
- ・授乳中の方、妊娠している方または妊娠の可能性のある方

○新型コロナワクチン接種と乳がん検診について

新型コロナワクチン接種に伴い、まれに、接種後10週以内に接種した腕のわきの下などのリンパ節が腫れることがあります。

乳がん検診はワクチン接種前か、ワクチン接種後であれば少なくとも6~10週後に受診されることをお勧めします。

ブレスト・アウェアネスとは

自身の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することを言います。乳がんの早期発見・診断・治療につながる、女性にとってとても重要な生活習慣です。

「ブレスト・アウェアネス」の4つのポイント

- ①ご自身の乳房の状態を知る
- ②乳房の変化に気を付ける
- ③変化に気づいたらすぐ医師へ相談する
- ④40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける

がん検診を受けることは大切なポイントの1つです。

ご自身の乳房に関心を持ち、生涯を通して健康で明るく充実した日々を過ごしましょう。



子宮頸がん検診・婦人科超音波検診



検診内容： 問診、子宮頸部細胞検査、超音波検査

自己負担額： 1,800円（70歳以上は無料）

持ち物： 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金、スカート

※フレアスカートや、ゆったりしたロングスカートが適しています。

○子宮がんの診断を受け治療を継続している方は、医療機関受診をお勧めします。

子宮頸がん検診・婦人科超音波検診は医療機関でも受診できます

検診方法	受診方法
検診車による 集団検診 (予約制)	①検診日程表で日程を確認する ②事前に受診日時を予約する(電話またはWEB) ③集団検診会場で受診する
医療機関による 個別検診	①健康増進センターから届く医療機関用の受診券を確認する ②実施協力医療機関で受診する(予約が必要な医療機関もあります)

- 集団検診、個別検診のいずれか一つの方法で受診となります。
- 医療機関用の受診券は、子宮頸がん検診(医療機関による個別検診)を登録済の方で今年度検診対象となる方(20~40歳の方、42歳以上偶数年齢の方)へ送付いたします。
- 子宮頸がん検診(医療機関による個別検診)を登録しておらず、受診を希望される方へは医療機関用の受診券を発行いたしますので、お住まいの地域の健康増進センターへお問い合わせください。

※登録状況が不明な方はお住まいの地域の健康増進センター(健診ガイド表紙参照)にお問い合わせください。